

震災後に復興支援として始まった「お月見コンサート」は今回で6回目を迎え、この時期の恒例行事として定着しています。今年も邦楽家の福原徹さん、福原百之助さんが出演し、庭園内にしつらえたステージで笛と鼓の豊かな響きを届けました。来場した市民の皆さんは、じっくりと音色に耳を傾けて秋の夜のひと時を楽しんでいました。(9月8日、蔵しっくパーク)



# 月夜に響く 和の音色

## 音楽とお酒で和やかに交流

### 佐浦 秋のミニコンサート

浦霞醸造元の(株)佐浦(塩釜市)が復興支援活動の一環として開催した「秋のミニコンサート」には、約30人が参加しました。加美町出身のバイオリニスト佐藤実治さんとみやぎの音楽教室を主宰するピアニストの及川美子さんの共演で癒しの音色を届けました。演奏の後は、日本酒の振る舞いもあり、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。(9月9日、柳の目東住宅集会所)



## 食べるのがもったいない!

砂糖とメレンゲを混ぜて着色したものでクッキーを飾る「アイシングクッキーをつくろう」が開かれました。NPO法人東松島市文化振興会が主催し、親子15人が参加。講師は仙台市を中心に活動する日本サロネーズ協会マスター講師のmippuさんが務めました。参加者は白、ピンク、茶、緑の4色を使って工作感覚でクッキーに絵を描いていました。(9月9日、市コミュニティセンター)

### デコレーションクッキー



## 自然とふれあい、味わう一体感 トレッキングとビーチヨガ



宮戸大浜漁港から室浜までをトレッキングし、浜で海を見ながらヨガを楽しむイベントが行われました。東松島市地域おこし協力隊と東松島市ヨガ教室の熱海和美認定ヨーガ療法士の主催で約20人が参加しました。大塩から参加した菊池好子さんは「波の音を聞きながらのヨガは気持ちよかったです」と話していました。(9月10日、室浜)



## 柔軟な発想で まちの未来を提案

東松山市の大東文化大学の学生たち

地域連携協定を結ぶ埼玉県東松山市の大東文化大学の学生たちが復興課題と向き合う「第2期東松島フレンドシップPBL(課題解決型授業)」の最終報告会を開きました。聴覚を使った津波避難や「東松島食べる通信」を食育、防災教育に活かす取り組み、定住促進に向けたビジネスプランコンテストを提案し、柔軟な発想でまちの未来を考えました。学生は事前学習と現地学習で約4カ月間、調査・研究してきました。(8月31日、市コミュニティセンター)

## JICA青年海外協力隊 佐藤百香さんを 西アフリカに派遣

独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊として、佐藤百香さん(24)=大溜出身=が西アフリカのベナンに2年間派遣されることになりました。佐藤さんは矢本第一中学校の出身。看護師として務めた経験を持ち、現地では母子健康手帳の普及や公衆衛生環境の改善などに力を入れています。佐藤さんは「協力隊は高校時代からの夢。これまでの経験を生かし、フットワークの良さを武器に活動します」と思いを語っていました。(9月19日、市役所)



## ファインプレーが続出

### 東松島市長杯野球大会



第12回東松島市長杯野球大会には、石巻地方で活動する17チームが出場しました。試合は3日間にわたってトーナメント方式で行われ、優勝チームはガンブラーズが、準優勝にはカルチャーズがそれぞれ輝きました。どのチームも日頃の練習の成果とチームワークを存分に発揮して、熱い戦いを繰り広げました。(9月3日、鷹来の森運動公園野球場)